

■すきです玉川 わたしも参加 つくるよろこび（玉川小学校）

1 【活動の趣旨】

これまでも各自治会・地域各団体・保護者と学校とが連携を取り合い、学習補助や地域の特性を活かした活動を実施するなど、様々な協力を得ている。それらの活動は地域・子どもそれぞれにとって有意義な活動であり、慣例化に陥らないように、子どもの実態に応じて弾力的に変更・修正を加え、計画・実施している。また近年、子どもによる「地域への貢献」を意識した活動に取り組んでいる。

2 【特徴的な活動内容】

○「守れ！地域の交通安全 ～交通安全ワッペンの設置活動～」

玉川小学校区には、南草津駅や国道・バイパスなど車両交通量が多い道路の他に、自転車が行き来する小さな路地が入り乱れる住宅地が存在している。そのため、登下校時には地域・保護者の方々が立哨・見守りをしてくださっている。そこで児童は、自分や地域の安全を守るために「自分にできることは何か」「地域に貢献できることはないか」について検討し、自治会や交通安全協会のみなさんとともに、「交通安全ワッペンの設置」活動に参画することとなった。

3 【実施に当たっての工夫】

導入場面では自治会長を招いて事前授業を行い、交通事故を防ぐための工夫や取組、安心・安心なまちづくりについて、地域・保護者の思いを教えていただき、活動への意欲・関心を高めた。その後、子どもたちは自分の住む地域の交通危険箇所を調べ、ワッペンの設置が必要な場所や枚数を考えるとともに、設置場所ごとに20のグループに分かれ、それぞれが主体的に実施計画の作成に取り組めるように心がけた。

また、設置当日は自治会・交通安全協会に加え、PTA地域部と有志の保護者にも協力を募り、児童が安全に活動できる体制を整えるとともに、保護者が教育活動へ自主的・意欲的に参画できる場面を設けるようにした。当日は、当該学年以外の保護者からも協力を得ることができた。



【自治会長による事前授業】



【交通安全ワッペンの設置】

4 【事業の成果】

これまでも地域の協力を得て様々な活動に取り組んできたが、その内容については、児童が「受け身的」に参加する場面が多い傾向にあった。今回の活動では、児童がそれぞれ問題意識を持ち、その解決のために調査・計画・実行するなど、主体的に活動することができた。また、活動自体が「地域への貢献」となり、改めて地域のことをより学んだり、愛着を持ったりすることにつながった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

本活動は、地域・保護者の協力・支援を見込んだ上で実施できる取組である。そのため、次年度以降も継続的に実施するにあたっては、本活動だけに関わらず、引き続き、地域・保護者・学校の3者間の連携を密にし、互いに支え合い、協力して子どもの成長を目指すことを常に意識し、確認する必要がある。